

## 地方支部長が抱負を語る

東北地方支部長

高橋雅幸

▽▲▽▲ 座右の銘 有言実行 ▲▽▲▽

**新年おめでとうございます。謹んでお慶び申し上げます。**

新しい年を迎えるにあたり、東北地方支部および八戸支部、気仙沼支部、小名浜支部、4つの東北の拠点での、組合活動における抱負を述べさせていただきます。

はじめに東北管内における昨年の主な活動ですが、東北管内では、各地方自治体への申し入れとして、東北地方支部が1月25日に宮城県へ申し入れを行い、佐野好昭宮城県副知事にご対応いただきました。申し入れには、本組合の政治参与である畠山和純宮城県議会議員にご同行いただき、申し入れの主な内容は、

▽船員の住民税減免の実施

▽海に親しむ活動の推進

▽離島航路への支援措置

▽海洋プラスチックごみへの対応一などで、

女川町と石巻市へも、それぞれ申し入れ活動を行い、須田善明女川町長と齋藤正美石巻市長にご対応いただき、宮城県と同様に丁寧に説明し理解を求めました。

管内各支部では八戸支部が八戸市に申し入れを行い、熊谷雄一市長にご対応いただきました。また、気仙沼支部が気仙沼市、小名浜支部が福島県と、いわき市へそれぞれ申し入れ活動を行い、船員政策の早期実現を要望しました。今年は、昨年からの進捗状況と、昨年11月に開催された第83回定期全国大会で決定した活動方針に基づき、活動したいと存じます。

船員の後継者確保・育成に関連する活動では、昨年6月に福島県立小名浜海星高等学校において、船員職業を目指す生徒を対象に進路ガイダンスを行い、漁船漁業を希望する海洋科2年生の75人と海洋工学科2年生3人が出席し、遠洋マグロ漁船への乗船を希望、または関心をもっている生徒たちと積極的に意見交換し、理解を深めました。また、7月1日には仙台市において第6回東北地区船員教育機関、海運・水産会社等関係者との懇談会を開催しました。今年は、さらなる組合活動を展開したいと考えています。

「海員だより」